

# 南海トラフ巨大地震に 立ち向かう メディアの役割

阪神・淡路大震災では、震災2ヵ月後に起きた地下鉄サリン事件を境として、東京をキー局とするメディアから「阪神」の報道は消え、東京五輪を3年後に控えた今、東日本大震災はすでに過去の災害になりつつある。震災の教訓を風化させることは、防災意識の低下にもつながりかねず、メディアにおける災害報道の果たす役割は大きい。今世紀前半にも発生が予想されている南海トラフ巨大地震に備え、想定被災地である沿岸部の報道機関はどのような姿勢で、何を伝えようとしているのか。新聞、テレビで災害報道に携わる記者と自治体で危機管理の経験が豊富な研究者を交えて、メディアの役割について話し合う。

**日時** 2017年10月29日(日) 13:30~17:00

**会場** 関西学院会館レセプションホール光の間  
(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

**主催** 関西学院大学 災害復興制度研究所

**共催** 日本災害復興学会  
被災の教訓を未来に伝える研究会

## ●プログラム

- 13:30 開会挨拶 長岡 徹 (関西学院大学 災害復興制度研究所 所長)
- 13:40 基調講演 高成田 享 氏 「東日本大震災とメディア」  
<小憩> (仙台大学教授/元朝日新聞論説委員・アメリカ総局長/NPO法人東日本大震災子ども未来基金 理事長)
- 14:50 パネル討論 仲山 友章 氏 (NHK和歌山放送局長)  
谷野 圭助 氏 (徳島新聞編集委員)  
岩田 孝仁 氏 (静岡大学教授/元静岡県危機管理監)  
佐藤 達弥 氏 (朝日新聞高知総局記者)  
司会 野呂 雅之 (関西学院大学 災害復興制度研究所 主任研究員・教授)
- 16:50 総括・閉会挨拶 山中 茂樹 (関西学院大学 災害復興制度研究所 顧問/日本災害復興学会 特別顧問)

●申し込み方法 (入場無料)

参加ご希望の方は、裏面の参加申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記宛FAXまたはメールにてお申込み下さい。

関西学院大学 災害復興制度研究所

TEL 0798-54-6996 FAX 0798-54-6997

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

http://www.fukkou.net/ Email:kgu\_fukko2005@fukkou.net



KWANSEI  
GAKUIN  
UNIVERSITY

FAX.0798-54-6997

メールの場合は同じ内容を  
kgu\_fukko2005@fukkou.net  
に送信して下さい。

# 関西学院大学 災害復興制度研究所 第2回連続公開セミナー 参加申し込み用紙

参加ご希望の方は以下の必要事項をご記入の上、  
**10月25日(水)までに、メール又はFAXにてお申し込みください。**

- お申し込み時点で既に受付が終了していた場合は、ご連絡させていただきます。(受付完了のご連絡はいたしません。)
- 参加申し込み用紙に記載された個人情報は本学関連業務以外に使用することはありません。

フリガナ	所属
氏名	
住所	電話
	E-mail

## 西宮上ヶ原キャンパスMAP

